大栄地区小中一貫教育準備委員会

委員会だより

２０１８．４．１
【第　７　号】
成田市教育委員会
準備委員会事務局

校章のベースデザインが決定!!

委員会だより第６号にてお知らせしておりました、校章の選定につきまして、平成30年２月７日に開催された第４回準備委員会にて再度協議を行った結果、右に示すデザイン（委員会だより第６号で示した３案のうち、デザイン①のスイングバイ）が、大栄みらい学園における校章のベースデザインとして選定れました。

このデザインは、「惑星の引力を利用して人工衛星をより遠くへ飛ばす技術（スイングバイ）のように、この学校で学んだことをエネルギーにスピードを上げて『みらい』に飛び立つイメージ」と「統合する５学区を表す小さな５つの丸」を表すものとなっており、案を作成いただいた大栄中学校美術部の皆さんの「大栄みらい学園」に対する思いが込められております。

今後はこのベースデザインをもとに、配色など細かい部分を詰めていき、最終的な校章を決定したいと考えております。

制服アンケート結果

制服については、昨年度の専門部会における検討を踏まえた上で、昨年２月２日に開催された第２回準備委員会にて協議を行い、制服を着用した場合には近隣の学校にはない大栄みらい学園の大きな特徴となることや、新しい学校として児童生徒の一体感を出せることなどから「１年生からの制服着用」に向けて検討を進めることといたしました。

また、保護者の意向を確認するため、アンケートを実施することも決定しており、それを受けて専門部会では昨年11月７日から11月14日にかけて、大栄地区の保育園、幼稚園、小学校の保護者を対象にアンケート調査を行いました。

結果としては、以下に示すとおり61%の方が制服着用に賛成となり、この結果をもとに第４回準備委員会にて再度協議を行っておりますので、紙面後半（裏面）にて報告いたします。

	制服を着用させたい	制服着用については消極的な考えである	無回答	計
集計結果	269人（61%）	165人（38%）	6人（1%）	440 人

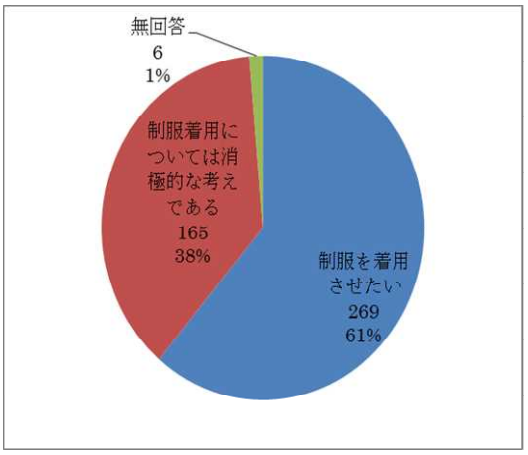
◆主なご意見（抜粋）

【賛成】

冠婚葬祭等でも使えて、長期的に見ると経済的である。
服の選択で迷うことがないので、朝の準備が楽になる。
学校全体で統一感が出て、見栄えが良い。
着ている服の差によって、からかわれる心配が少なくなる。

【消極的】

統合時に子ども全員分を買い替えるのは費用がかかる。
子どもの成長が早く、買い替えに費用がかかる。
小学生は動きが活発で汚れるため、制服だとクリーニング代がかかる。

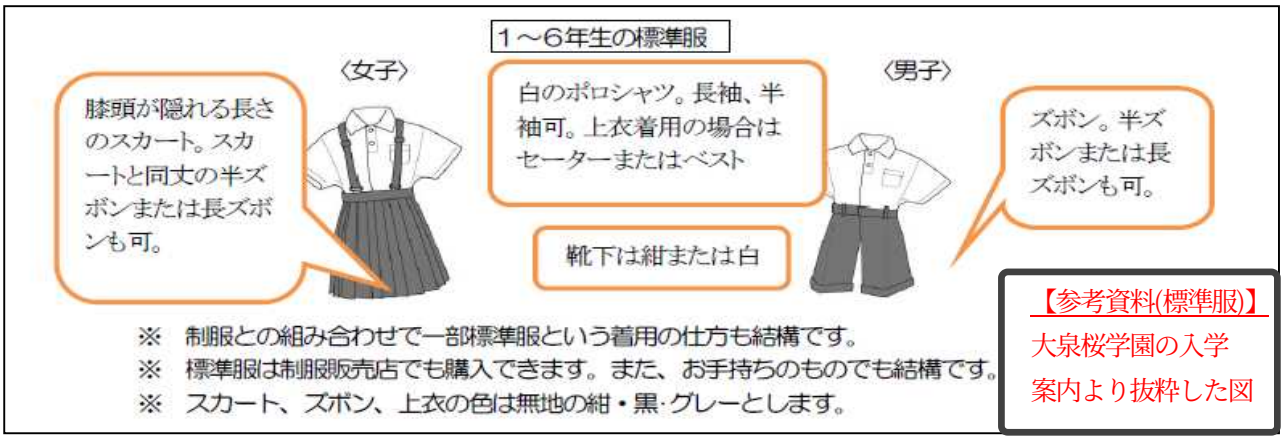


練馬区立大泉桜学園視察（11月21日）

昨年度に引き続き、大栄地区の皆さまに施設一体型の小中一貫教育の先進校を見てもらうため、視察を行いました。今回は、平成23年度から小中一貫教育を実践している、東京都練馬区にある小中一貫教育校「大泉桜学園」を、準備委員会8名、教育委員会15名の合計23名で視察しました。

大泉桜学園は、昨年度視察した品川学園と同様に1年生から制服を着用する学校でありますが、制服とは別に標準服（制服に準ずる安価な基準服　※イメージできるように大泉桜学園の入学案内から抜粋した資料を以下に掲載いたします。）も定めており、1～6年生は制服と組み合わせて標準服を着用することも可としていました。

また、開校以来7年間、試行錯誤をしながら積み重ねてきたことが今の大泉桜学園につながっているとの説明があり、学校運営や行事など様々な面で参考となるお話を伺うことができました。



【参考資料(標準服)】
大泉桜学園の入学案内より抜粋した図

第4回準備委員会（2月7日）

紙面冒頭でもお伝えしましたが、前回の準備委員会で3案に絞り込んだ校章案について再度協議を行い、ベースとなるデザインを決定しました。各学校等で児童や保護者の声を聞いたところ、スイングバイのデザインを推す声が多く、準備委員会の委員の皆さんの意見もスイングバイを支持する方が多数であったため、賛成多数によりベースデザインを決定しています。

また、準備委員会では校章の選定以外にも、専門部会からの活動報告や大泉桜学園の視察報告とともに、大栄地区小中一体型校舎建設事業の進捗状況についても報告を行いました。

そのほか、制服に関しても協議を行っております。まずは、事務局よりアンケートの結果について報告をさせていただき、その結果を受けて再度委員の皆さまで意見交換を行い、今後の方向性について検討をしていただきました。

協議の中では、消極的な方の意見として「費用面の心配が多い」ことについて取り上げられ、それについては、大泉桜学園のような標準服の採用や、制服購入についての移行期間を設けて新1年生から順次新しい制服を導入すること、洗濯可能で速乾性のある制服を採用すること等で、ある程度不安を解消できるのではないかとの意見が出されました。

また、桜田小学校の保護者の大半が制服を支持している現状から、制服を導入する場合にはどのような経済的な負担があり、どのようなメリットがあるのか桜田小学校の保護者等から再度説明がなされ、そのような協議の結果、準備委員会の総意としては**「制服を着用させたい」**との方向性を決定しました。以下にその場で出た「費用を抑える対策やメリット」等に関する情報を掲載させていただきます。

なお、今後は保護者の皆さまに向けても説明や情報発信を行い、不安感等の払しょくを目指してまいります。

◆制服について（費用に関すること・費用を抑える対策・メリット等）のまとめ

・購入費用はサイズ等により若干差があるが、桜田小学校の例では全部新規に揃えると約2～3万円程度。
　※ただし、制服着用の場合でも、桜田小学校の制服をそのまま継続するのではなく、他校との公平性の観点等から新たな制服を検討し直すこととなります。
・買い替え頻度としては小学校6年間で1～2回が一般的。　・保護者間で融通し合うことで費用を抑えられる。
・移行期間を設けて子ども全員分を一度に購入しなくても良いようにする。・家庭でも洗濯可で速乾性のある制服にする。
・標準服のように安価な基準服を設定（桜田小学校でも千円以下のポロシャツ等の着用が可で、経済的とのこと。）。
・冠婚葬祭等行事で使えて（行事用に別途購入する必要がなく）、長期的に見ると経済的。　・朝の支度が楽。
・服装（私服）の差が出ることによる心配事の解消。　・学校行事等での見栄えの良さ、学校全体での統一感。

教育委員会事務局：TEL0476-20-1580